

ライフデザインとSDGsの各目標

学科での学びと、SDGsの各目標とはどのような関係を持っているのでしょうか？

例えば……「住まう」から考えよう！

持続可能な住まい方とは何でしょうか？国内の木材を使用して（地産地消）、快適性を保つための伝統的な材料・技術を採り入れ（エネルギー低使用、化石燃料低使用）、長く住み続け、次の世代に引き継ぐ（人と場所、世代と世代をつなぐ）という住まい方が想定されます。これは、



に関係しています。



また家庭・地域のあり方や働き方を考えることは、社会集団における多様性や公平性を考えることになり、



が関係してきます。



生活者視点からのSDGsの必要性

SDGsの目標には、詳細な「ターゲット」が示されています。その数、169個。しかし、そこには生活者視点が盛り込まれていません。現在の世界問題は、どこで作られたどんなものを買って、どんな使い方をして……など、日々の私たちの生活の結果が積み重なって引き起こされたと言っても間違いはないでしょう。SDGsが達成できるかどうかは、私たち自身が当事者意識をもって行動できるかどうかにかかっているのです。

ライフデザイン学科では、一人ひとりが行動できるように「**持続可能性**」を「**生活**」において実践する方法を考えることを常に意識して学んでいきます。



LIFE DESIGN × SDGs

ライフデザインとSDGs

このパンフレットでは、ライフデザイン学科とSDGsの関係について説明し、各研究室で行っている授業・研究を紹介します。

What is SDGs?

SDGsは17項目からなる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことです。

What is Life Design?

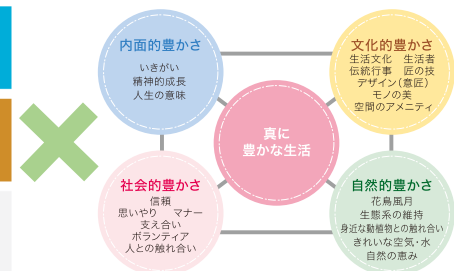
これまでの大量消費・大量廃棄型のライフスタイルを脱し、自然との共生、他者とのつながり、モノの美の享受、個人の生きがいを獲得し“真の豊かさ”を実現するような新しいライフスタイルを構想することです。ここでは、持続可能性が強く意識されます。

SDGsとライフデザインの対象



ライフデザインが取りあげるライフスタイルは、着る・纏う、食べる、住まうという生活の営みや働く、遊ぶといった活動、そして家庭を営み、家族を持ち、地域とつながるといった人間関係の構築などから成り立っています。

このことから、広い範囲を対象とするSDGsと、ライフデザインが結びつきそうだということが分かることでしょう。



ライフデザイン学科の教育・研究とSDGsとの関連

各研究室の多彩な教育・研究活動のなかから、SDGsと関連性の高い事例を紹介します。

◆ライフマネジメント研究室◆

衣食住の問題解決と生活文化の継承、地域文化の振興に取り組んでいます。



◆住文化研究室◆

日本古来の住文化の魅力を掘り起こすことをしています。



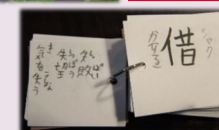
◆国際生活文化研究室◆

高度消費社会に生きる大学生のライフスタイルが抱える問題について考えます。



◆文化・発達心理学研究室◆

日本にルーツをもつ海外育ちの子ども日本語習得を支援する研究を行っています。



◆工芸デザイン研究室◆

染織文化を継承する意味を考えています。



◆デザイン文化研究室◆

環境に配慮した「デザイン」について、過去の事例を参考としながら考えています。



◆環境教育学研究室◆

フードマイレージのない国産コーヒー・ワインの生産手法を研究しています。



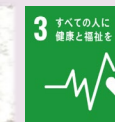
◆人間情報科学研究室◆

すべての人が分かりやすく使いやすいユニバーサルデザインを考えています。



◆家族社会学研究室◆

家庭・家族、働き方について、ジェンダー視点をもった研究をしています。



◆生物環境保全学研究室◆

水辺の生物多様性を守るための研究をしています。



さらに詳しい解説はこちらどうぞ！

